

先生いち押し!!

2009.3 図書館学術情報センター



学生時代に読んでほしい本
[アンケート実施期間：2008.12-2009.1]

関西外大の先生方から、学生時代に
読んでほしい本を推薦していただきました。
素敵なコメントとあわせて紹介します。
(先生の氏名の五十音順に並んでいます)

安達丈夫 先生

い ち 押 し !

『エル・シッド・カンペアドル』

ラモン・メネンデス・ピダル著 安達丈夫訳 文芸社 2000
I 3F 236.04/Me46

【信念を貫ぬく】

国王や上位貴族の悪意に屈せず、日本の武士道精神に似た信念を貫ぬき、国家がなすべき歴史的偉業を独りで成しとげた生き様は感動的である。

安達直樹 先生

い ち 押 し !

『下流志向』

内田樹著 講談社 2008 I 3F 371.4/U14

『大人のいない国』

鷲田清一、内田樹著 プレジデント社 2009
I 3F 304/W42

『日本語で一番大事なもの』

大野晋、丸谷才一対談 中央公論社 1988
I 3F 810.4/067

阿部奈南 先生

い ち 押 し !

『17歳のための世界と日本の見方』

松岡正剛著 春秋社 2006 I 3F 361.6/Ma86

『あなたのTシャツはどこから来たのか?』

ピエトラ・リボリ著 雨宮寛、今井章子訳
東洋経済新報社 2007 I 3F 586.09/R49

『普通の家族がいちばん怖い』

岩村暢子著 新潮社 2007 I 3F 498.5/I94

【世界と日本、そして自分の足もとを見つめ直すために】

大学で学び、社会へ出て行くための力をつけてほしい、と常々考えています。そのためには、学生のみなさんに〈自分の立ち位置〉や〈自分と他者〉についてきちんと把握していただきたいと思います。

* いち押しリストの見方 *

先生の名前

い ち 押 し !

『本のタイトル』

著者 出版社 出版年など

I 図書館での所在

【コメントタイトル】

——いち押しコメント。

池永満生 先生

い ち 押 し !

『DNA』

ジェームズ・D・ワトソン アンドリュー・ベリー著
青木薫訳 講談社 2003

I 2F 指定 467.2/W48//池永満生

【生命の神秘】

DNAとは遺伝子の実体を示す物質名である。もはや日本の食品も遺伝子組み換え植物由来の品であふれている。ナタネ油、組み換えトウモロコシで飼育した牛肉などである。食卓から犯罪捜査までDNA抜きで世界は語れない。DNA2重らせんの発見者ワトソンが、発表50年を記念して分かり易く語る「生命の神秘と未来」。

岩橋 昭 先生

い ち 押 し !

『夜と霧』

ヴィクトール・E・フランクル著 池田香代子訳
みすず書房 2002 I 3F 329.6/F44

生きることの意味を問う本。一読して深い感銘を受けました。

大谷晃也 先生

い ち 押 し !

『物理学とは何だろうか』上,下

朝永振一郎著 岩波書店 1979
I 3F 420/A87b/1.2

【科学の根底が分る本】

現代文明は科学の発展なしには考えられません。その科学の基礎を築いたのは、著者によるとガリレオガリレイとケプラーです。彼らは千年以上も常識であった「地球は止まっている」や「天の運動は円運動だ」等のことを実験や観察を根拠にして覆し、新しい概念(理論)を構築したのです。このような方法が色んな分野に適用され諸科学の発展があり、現代文明の礎になっていると考えます。

小西咲子 先生

い ち 押 し !

①『きけわだつみのこえ』

日本戦没学生記念会編 新版 岩波書店 1999
(岩波文庫) | 2F 文庫 210.75/N71

②『外国語学習の科学』

白井恭弘著 岩波書店 2008 | 3F 807/Sh81

- ①戦争によって不条理にも学業を絶たれた学生の手紙集。特攻に散った彼らの若さを思うと冷静でいられなくなります。
- ②語学教師になる可能性のある学生は読んでおくとよいでしょう。

小林純子 先生

い ち 押 し !

『祖国とは国語』

藤原正彦著 新潮社 2006 (新潮文庫)
| 2F 文庫 914.6/F68

【国語はすべての知的活動の基礎】

著者は「国語はすべての知的活動の基礎である」と述べているが、外国語を学習するにも日本語力がきわめて重要であることは言うまでもない。「日本人は英会話ができないのではなく、会話自体ができないのである」という批判を払拭するためにも、内容のある会話をするためには、まず日本語力を磨かなければならないことを学生に自覚して欲しい。その日本語力を磨くには、読書をするのが不可欠であり、著者の主張する「読書は過去も現在もこれからも、深い知識、なかなづく教養を獲得するためのほとんど唯一の手段である」を噛み締めてもらいたい。

小阪知弘 先生

い ち 押 し !

『プラテロとわたし』

J・R・ヒメーネス作 長南実訳 岩波書店 2002 (岩波文庫)
| 2F 文庫 961/J51

友情、小さき者への愛、スペインの風景。特にスペイン語学科の学生の人々にお薦めします。美しくもやさしい散文詩の世界です。

桜井悌司 先生

い ち 押 し !

『自省録』

マルクス・アウレーリウス著 神谷美恵子訳
岩波書店 1982 | 3F 131.58/Ma51jK

他人から何を学ぶか、自分は何をしなければならぬかが分かる。

澤田治美 先生

い ち 押 し !

①『或る「小倉日記」伝』

松本清張著 64刷改版 新潮社 2004 (新潮文庫)
| 2F 文庫 913.6/Ma81

②『深い河』

遠藤周作著 講談社 1996 (講談社文庫)
| 2F 文庫 913.6/E59

- ①松本清張の芥川賞受賞作。体が不自由で孤独な一人の青年が小倉時代の鷗外を追求する感動的な物語である。
- ②深い河とは、インドのガンジス川のことである。人はどう生きるべきかということ、大津と美津という二人の生き方を通して、私たちに語りかけている。

須本雅子 先生

い ち 押 し !

①『文明の衝突』

サミュエル・ハンチントン著 鈴木主税訳 集英社
1998 | 3F 319/H98

②『歴史と文明の論理』

中埜肇著 中央公論社 1994 (中公叢書)
| 3F 104/N39

- ①文明とはなにかを理解することによって国際関係と国際秩序を考える。
- ②歴史とは何か、歴史と文明とは、を考えて見ることは学生にとって必須であると思う。

竹間優美子 先生

い ち 押 し !

『実存主義とは何か』

J・P・サルトル著 伊吹武彦、海老坂武、石崎晴己訳
増補新装 人文書院 1996
| 3F 135.9/Sa69

とても簡単な哲学入門書です

田尻陽一 先生

い ち 押 し !

『ドン・キホーテ』1-4

セルバンテス著 荻内勝之訳 越千秋絵 新潮社 2005
| 3F 963/C29/1-4

スペイン語学科の学生で『ドン・キホーテ』を読まずして卒業はできない。

読まずして
卒業はできない

By 田尻先生

玉永公子 先生

い ち 押 し !

『「緑の革命」と「心の革命」』

MS スワミナサン、池田大作著 潮出版社 2006.4 | なし

パグウォッシュ会議会長、モンコンブ・S・スワミナサンと創価大学創立者、東洋哲学研究所創設者池田大作氏の未来を照らす対談の書です。

戸毛敏美 先生

い ち 押 し !

『外国語を身につけるための日本語レッスン』

三森ゆりか著 白水社 2003 | 3F 810.7/Sa58

【外国語をマスターする土台は母語】

日本語を母語としている私達は先ず日本語の語感を磨いておれば、外国語の理解も深まります。母語は外国語という大樹を育てる上で、極めて大事な土壌です。そしてそれを整理し、耕し、除草し、追肥をする等してこそ外国語も上達するのです。

堀井令以知 先生

い ち 押 し !

『一般言語学講義』

フェルディナン・ド・ソシュール著 小林英夫訳 岩波書店 1972 | 3F 801/Sa91

【言語の本質を知るために】

言語学者ソシュールのジュネーヴ大学での講義内容をまとめたもの。原文のフランス語は明晰でわかりやすい。

村上裕美 先生

い ち 押 し !

『沈黙の春』

レイチェル・カーソン著 青樹築一訳 新潮社 1987

| 2F 文庫 519.5/C22sA

『レイチェル・カーソン』

上岡克己 上遠恵子 原強編著 ミネルヴァ書房 2007

| 3F 289.3/C22/K

【自分を変える一冊との出会い】

『沈黙の春』はアメリカをそして世界を変えた一冊と言われる本です。農薬の害やあとの世代に及ぼす危険などについて警鐘を鳴らした本ですが、この本と著者について最近出版された総合的な案内の役割を担う『レイチェル・カーソン』を読めば、人がどのように考え、生きるべきか、そして自然への目の向け方がひいては人間関係や次世代の育成と深くかわることに気付かされます。一人の社会人、地球人としていままで、常に自らの行動が環境に

与えることに気付くようになることで環境だけでなく、周囲のひととの人間関係の築き方や自分が授かる子どもの育て方にも良い影響を与えるでしょう。一人の人間は家庭や親という身近な環境の影響を受けて長い年月の内で成長します。その大切な時期に本当に人として与えるべき影響を親として与えられる大人になって社会へ出発してもらいたいと願います。

山下理恵子 先生

い ち 押 し !

『モモ』

ミヒヤエル・エンデ作 大島かおり訳 岩波書店 2006

| 3F 943/E59

ドイツの作家ミヒヤエル・エンデによる児童文学だが、大人の視点で読んでも十分に興味深い。「忙しい」と走り回って、時間に追われる現代人。本著では、それを時間どろぼうのしわざとして心の余裕を失う人々の姿を辛辣に描く。「時間を有効活用」することばかり強調される社会へと出て行く前に、本著を通して時間を大切にすることの意味を考えてほしい。また同作者の「はてしない物語」も哲学的なメッセージを持ったファンタジーでおすすめできる。

山道茂樹 先生

い ち 押 し !

『EUの知識』

藤井良広著 日本経済新聞社 2005 | 3F 333.5/F57

【EU入門書】

EU(欧州連合)の統合の原点から、これまでの歩みをやさしく解説したEU入門書として好著。

Point 本を探すときは…ココ👉に注目!!

■ 図書館での所在

<例> ⇒ | 2F 文庫 519.5/C22sA

a.配置場所 b.請求記号

a.配置場所 3F = 3F 一般図書
2F 文庫 = 2F 文庫コーナー
2F 指定図書 = 2F 指定図書コーナー

b.請求記号 テーマごとに決まっています

961

J51

書架では
この番号の順番に
本が並んでいます

柚木かおり 先生

い ち 押 し !

『カラマーゾフの兄弟』1-5

ドストエフスキー著 亀山郁夫訳 光文社 2006

Ⅰ 2F 文庫 983/D88/1-5

『父と子』

ツルゲーネフ著 工藤精一郎訳 新潮社 1998

Ⅰ 2F 文庫 983/Tu6

【混迷と暗闇をどう乗り切るか】

現在の日本が混迷と暗闇の状況にあるのはい目瞭然ですが、このような時代にあって「自分はどうか考え、どう行動するのか」のヒントになるような本をたくさんでなくてもいいから、じっくり読んでほしいと思います。上にあげた本はどちらも、ロシアの類似の時代に書かれた作品です。いろんなテーマが投げかけられているので、自分の興味をそそられるものを拾って、考えてみてはどうでしょう。

吉村耕治 先生

い ち 押 し !

『英語で人生を考える』

加藤諦三著 大和書房 1988 Ⅰ 3F 836/Ka86e

人間が気力を失わずに生きていくためには、睡眠や食事のほかに、心の栄養も必要である。英語の学習に役立ち、勇気や元気を与えてくれ、心の糧にもなる本として、加藤諦三(著)『英語で人生を考える』(*Let's talk about life in English*)を紹介します。“It takes time to accomplish anything.”(何でも成し遂げるには時間がかかる)、“Don't compare yourself with others”(自分を他人と比較するな)、“Let's not imitate others. Let's find ourselves and be ourselves.”(他人を真似ることなく、自己を発見し、自分らしくいよう)など。

和田稜三 先生

い ち 押 し !

『文明の生態史観』

梅棹忠夫著 中央公論社 1975 Ⅰ 文庫 389/U73

【日本人による初めての独創的な歴史観】

長い間のフィールドワークを通して誰も思いつかなかった歴史の展開を生態学の立場から解釈した本。いまでもそれが色あせていないと思われる。ぜひ、読んでみて下さい。

Point 企画展示コーナーのお知らせ

2009.4~ 図書館1階企画展示コーナーにて

『先生いち押し!!学生時代に読んでほしい本』

(展示終了後、本は元の配置場所へ戻ります)

渡千鶴子 先生

い ち 押 し !

①『紫式部のメッセージ』

駒尺喜美著 朝日新聞社 1991 Ⅰ 3F 913.36/Ko59m

②『白鳥の歌なんか聞えない』

庄司薫著 改版 中央公論新社 2002

Ⅰ 2F 文庫 913.6/Sh96

- ①千年紀に因んでお勧めする。フェミニスト的解釈の一冊。
- ②男子いかにいきるべきかを描いている。芥川賞受賞作に『赤頭巾ちゃん気をつけて』の主人公シリーズで爽やかに優しい青春像。

山本志高 先生

(ハンドルネーム)

い ち 押 し !

『英語支配の構造』

津田幸男著 第三書館 1990 Ⅰ 3F 830.4/Ts34e

【クリティカル・シンキングのために】

そもそも何故我々は英語を勉強しなくてはならないのか? 与えられたものを無批判に受け入れるのではなく、「与えられる」ことの背景には何があるのかを意識するのが真の大学生である。

Asady 先生

(ハンドルネーム)

い ち 押 し !

『私が一番受けたいココロの授業』

比田井和孝,比田井美恵著 ごま書房 2008

Ⅰ 3F 159/H54

【人生が変わる奇跡の60分】

「誰もがわかっているつもりでも、本当はやれていないこと」をちゃんとしていくと、どう人生が変わり、好転していくか…その秘密がここにあります。

mocking bird 先生

(ハンドルネーム)

い ち 押 し !

『ドン・キホーテ』1-4

セルバンテス著 荻内勝之訳 堀越千秋絵 新潮社 2005

Ⅰ 3F 963/C29/1-4

『志とは何か』

奈良本辰也著 旺文社 1981.7

Ⅰなし

読んで、考えてほしい。(この本が薦められた理由について)読み始めてしばらくしても、その本にひかれるものがないと感じたら、その時点で読むのをやめればよろしい。最後まで読めた人には、何らかの理由が見つかるでしょう。